2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	臨床検査総論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年次	学期及び曜時限	後期	教室名	
担当教員	小丁生 「1ト頁! 工作経験を	・病院臨床検査実務経験30年以上、精度管理、臨床化学など・病院の臨床検査実務経験20年以上、認定心電検査技師、認定専門技師(脳波、神経電動検査)など			

《授業科目における学習内容》

臨床検査の意義や目的を理解し、検査データの解釈ができるため、検査の流れや医療事故防止のための重要事項と各検 査項目の目的・測定手技・基準範囲の背景など、幅広い知識を学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

筆記試験評価、出席評価点、平常評価点

《使用教材(教科書)及び参考図書》

系統看護学講座 別巻 臨床検査

編集:大久保昭行

発行者:株式会社 医学書院

《授業外における学習方法》

特になし

《履修に当たっての留意点》

臨床工学技士がその職務や、チーム医療の一員として患者にかかわるとき、臨床検査の一般的知識・学識が必要になると 思われる。そこで、本講義がその一助になれば幸いである。

	授業の 方法		内 容		授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講義	授業を 通じての 到達目標	臨床検査の全体的な流れについて理解し、検体採取から検査 の実態、検査結果の取り扱いについて知る。	教科書 配布プリント	
		各コマに おける 授業予定	臨床検査の流れについて、検査の準備、採取、保存、検査結果における留意点などを通して説明する。		
第 章	講義	授業を 通じての 到達目標	臨床検査とその役割について理解する。	教科書	
	我形式	各コマに おける 授業予定	診療における臨床検査の役割、臨床検査の目的と結果の解釈 について説明する。	配布プリント	
第一章	講義	授業を 通じての 到達目標	化学検査(血清蛋白質、血清酵素、糖代謝、脂質代謝)の意義、検査 方法、基準値などを学び、関係臓器の異常を理解する。	**************************************	
	我形式	各コマに おける 授業予定	化学検査 血清蛋白質、血清酵素、糖代謝、脂質代謝	教科書 配布プリント	
第	講	授業を 通じての 到達目標	化学検査(胆汁、窒素化合物、骨代謝など)の意義、検査方法、基準値などを学び、関係臓器の異常を理解する。	**************************************	
4	義形式	各コマに おける 授業予定	化学検査 胆汁排泄関連物質、窒素化合物、骨代謝、腎機能、電解質検 査、血液ガス分析など	教科書 配布プリント	
男 5 同	講義・形式	授業を 通じての 到達目標	一般検査(尿・便検査)の意義、検査方法、基準値などを学び、 関係臓器の異常を理解する。	教科書配布プリント	
		各コマに おける 授業予定	一般検査 腎臓の働きと尿の生成および尿・便・体腔内貯留液、脳脊髄液 などの検査		

	業の法			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
8 6	講	授業を 通じての 到達目標	血液検査の意義、検査方法、基準値などを学び、関係臓器の 異常を理解する。	#1 6V Tr.	
	義形式	各コマに おける 授業予定	血液検査 赤血球沈降速度、血液検査(血液の成分、赤血球・白血球・血 小板の検査)、止血・凝固検査など	教科書 配布プリント	
第	講		免疫血清学検査の意義、検査方法、基準値などを学び、関係 臓器の異常を理解する。	教科書配布プリント	
7 同	義形式	各コマに おける 授業予定	免疫血清学検査 炎症マーカー検査、液性免疫の検査、細胞性免疫検査、自己 抗体検査、輸血検査ばど		
第	講	授業を 通じての 到達目標	内分泌学検査(下垂体ホルモン、甲状腺ホルモン)の意義、検 査方法、基準値などを学び、関係臓器の異常を理解する。	*****	
8	義形式	各コマに おける 授業予定	内分泌学検査 下垂体前葉ホルモン検査、下垂体後葉ホルモン検査、腺ホル モン検査	教科書 配布プリント	
第	講	授業を 通じての 到達目標	内分泌学検査(副甲状腺ホルモン、性腺ホルモンなど)の意義、検査 方法、基準値などを学び、関係臓器の異常を理解する。	ゼ ムイソ キャ	
9	義形式	各コマに おける 授業予定	内分泌学検査 副甲状腺ホルモン、性腺ホルモン、膵腺ホルモンなど)	教科書配布プリント	
第	講	授業を 通じての 到達目標	感染症の診断と検査の意義、検査方法、基準値などを学び、 関係臓器の異常を理解する。	教科書 配布プリント	
10 回	義形式	各コマに おける 授業予定	微生物学検査 感染症の診断と各感染症の検査		
第	講	授業を 通じての 到達目標	各種病原体の特性を学び、検査方法、薬物感受性について理解する。	教科書 配布プリント	
11 回	義形式	各コマに おける 授業予定	微生物学検査 各種病原体の特性と検査方法		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	病理検査の意義、検査方法などを学び、関係組織の異常を理解する。	#1 6V T	
12	我形式	各コマに おける 授業予定	病理検査 細胞診検査、病理組織検査	教科書 配布プリント	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	生理機能検査の意義、検査方法、基準値などを学び、関係臓器の異常を理解する。	教科書配布プリント	
13 月	我形式	各コマに おける 授業予定	生体検査 生理機能検査(循環機能、呼吸機能検査)		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	生体検査(神経機能検査、画像検査の意義、検査方法、基準値などを学び、関係臓器の異常を理解する。	光 利 書	
14 回	形式	各コマに おける 授業予定	生体検査 生理機能検査(神経機能検査)、画像検査(超音波検査、サー モグラフィー)、内視鏡検査	教科書 配布プリント	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	検査データを読む		
15	演習形式	各コマに おける 授業予定	まとめ		